

分野		補完的な道路の整備		事業番号	86	事業名	県単道路改築					
市町村名	大桑村	ふりがな箇所名	(一) <small>あげまつな ぎ せん</small> 上松南木曾線			<small>あてら との</small> 阿寺〜殿		事業年度 (完了年度は見込み)	年度～ 年度			
事業概要	区分	事業内容				事業費(千円)		財源内訳(千円)				
	全体	道路築造工 L=2,500m W=6.0(8.0)m (うち橋梁100m)				900,000		国庫	その他	県債	一般財源	
	H25年度											
箇所評価	区分	評価項目・指標等				評価				ランク	評点	
	必要性 (30)	計画交通量	<input type="checkbox"/>	4,000台/日以上	<input type="checkbox"/>	1,500台以上～10,000台/日未満	<input checked="" type="checkbox"/>	1,500台未満			B	0
		代替道路	<input type="checkbox"/>	唯一の道路である	<input checked="" type="checkbox"/>	代替となる道路がある				0		
		ネットワーク (道路網)	<input checked="" type="checkbox"/>	バス路線である	<input type="checkbox"/>	B 駅やICなどに通じるまたは役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線	<input type="checkbox"/>	A 及びBに該当しない				5
			<input checked="" type="checkbox"/>	ボトルネック箇所	<input type="checkbox"/>	ボトルネック箇所でない				4		
		各事業特有の必要性(安全の確保)	<input checked="" type="checkbox"/>	観光地に通じる道路	<input type="checkbox"/>	観光地に通じる道路ではない				2		
			<input checked="" type="checkbox"/>	4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)	<input type="checkbox"/>	4.0m以上5.5m未満(幅員)	<input type="checkbox"/>	5.5m以上(幅員)				6
		<input type="checkbox"/>	自動車と自転車・歩行者との分離を図る	<input type="checkbox"/>	歩道はあるが不十分であるものを再整備	<input checked="" type="checkbox"/>	自動車と自転車・歩行者との分離がなされていない			0		
		他事業との関連	<input type="checkbox"/>	河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施						0		
	小計											17
	重要性 (10)	設計上の環境・景観配慮	<input checked="" type="checkbox"/>	環境・景観配慮がされ確実性が高い	<input type="checkbox"/>	環境・景観配慮がされているが確実性が低い	<input type="checkbox"/>	環境・景観配慮をしていない			A	5
		地域の法的な位置付け	<input type="checkbox"/>	緊急輸送路(1次)に位置付けられている	<input checked="" type="checkbox"/>	緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地質防災対策強化地域、国土整備実施計画認定地域に位置付けられている	<input type="checkbox"/>	特別な位置づけはない				3
		小計										
	効率性 (20)	費用対効果	<input checked="" type="checkbox"/>	B/C(3便益)1.0以上	<input type="checkbox"/>	B/C(3便益)1.0未満(3便益以外の観点から一定の効果が得られる)	<input type="checkbox"/>	B/C(3便益)1.0未満			B	5
		事業効果の早期発現(H25以降残事業年数)	<input type="checkbox"/>	事業年数 3年以内	<input type="checkbox"/>	事業年数 4年～5年以内	<input checked="" type="checkbox"/>	事業年数 6年以上				0
		コスト縮減	<input type="checkbox"/>	全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>	部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	<input type="checkbox"/>	コスト縮減はしていない				5
		小計										
	緊急性 (20)	安全性の向上	<input type="checkbox"/>	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる	<input checked="" type="checkbox"/>	交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	<input type="checkbox"/>	交通事故や落石等の危険がない			B	6
		各事業特有の緊急性(医療・福祉)	<input type="checkbox"/>	医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)	<input checked="" type="checkbox"/>	医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)	<input type="checkbox"/>	医療・福祉の連携に関係ない道路				6
		小計										
計画 熟度 (20)	地域からの要望	<input type="checkbox"/>	地域住民の内発的な要望が強い	<input checked="" type="checkbox"/>	市町村からの要望	<input type="checkbox"/>	特に要望がない			C	5	
	事業情報の共有	<input type="checkbox"/>	関係者以外に広く周知	<input type="checkbox"/>	関係者中心に周知	<input checked="" type="checkbox"/>	特に周知していない				0	
	住民参加の状況	<input type="checkbox"/>	住民が計画策定に直接参加	<input checked="" type="checkbox"/>	住民や市町村の意見を計画策定に反映	<input type="checkbox"/>	特に住民意見は反映していない				4	
	小計											9
費用対効果(B/C)		11.8		評価の合計				B		56		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	国道19号に対し木曾川の対岸を通る路線であり、木曾川右岸道路の計画区間として位置付けられている。当箇所は大桑村殿地区と野尻向地区を結ぶ生活道路となっている。バス路線であるが、大型車通行が困難なため、19号の代替え機能を持たせるためにも改良を早期に完成させ、地域住民の民生安定が望まれている。										
	地域からの要望経緯	H14に木曾川右岸道路づくり合同委員会及び南部部会が立ち上がり、当箇所を含めた木曾川右岸道路南部検討区間22kmについて、計画策定段階から住民が参加する(PI)形で計画を進めてきた。南部部会は地区選出者や各組織代表者などから構成されており、地元からの要望が直接的に出されている。										
	事業説明等の経緯	H14に合同委員会が2回、南部部会が4回、H15に南部部会が3回、H16以降、年1～2回のペースで開催され、木曾川右岸道路のコンセプトやルートの検討を行ってきており、当箇所の早期着工を毎回強く求められている。										
	環境・景観への配慮項目	木曾川右岸道路(南部ルート)建設事業環境影響評価書に従う。										
	他事業・プロジェクトとの関連	木曾川右岸道路南部計画区間の22kmの一部である。										
	特記事項	これまで概略ルート等についてPIにより住民の意見を集約しながら検討してきたが、今後も詳細なルートの決定や道路の設計についても住民参加型の事業の促進に努めてまいりたい。										
地域の合意形成		<input type="checkbox"/>	全員賛成	<input checked="" type="checkbox"/>	概ね賛成	<input type="checkbox"/>	過半数賛成	<input type="checkbox"/>	動向不明			
部意見	計画熟度が低いため、事業化を見送りたい。				行政改革課意見	計画熟度がやや低い。						